

2020年3月期 第2四半期決算説明会

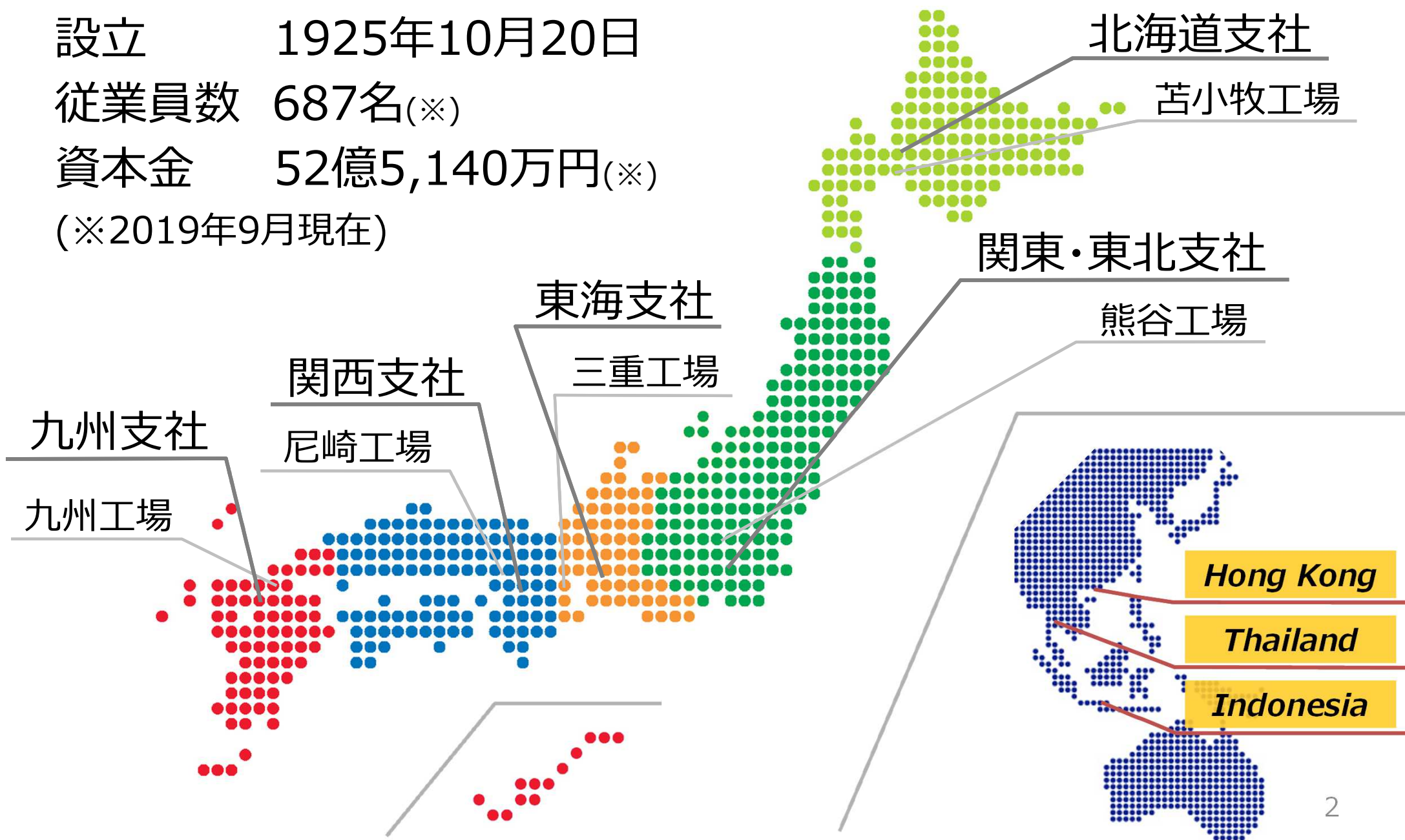
2019年11月19日

日本ヒューム株式会社
東京証券取引所
証券コード：5262

1. 会社概要・事業内容
2. 2020年3月期第2四半期業績説明
3. 2020年3月期業績予想
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

会社概要

設立 1925年10月20日
従業員数 687名(※)
資本金 52億5,140万円(※)
(※2019年9月現在)



事業全体図



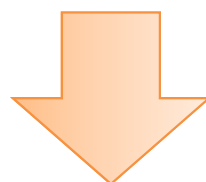
【～2019年3月期】

コンクリート
製品事業

工事事業

不動産
開発事業

その他



【2020年3月期～】

基礎事業

下水道
関連事業

太陽光発電・
不動産事業

その他

調整額
(一般管理費)

基礎事業



パイル施工(中掘工法)



PCウエル

下水道関連事業

下水道管、関連工事

浸水対策 (雨水幹線、貯留管)



ヒューム管



合成鋼管



RCセグメント

減災(耐震化)



マンホール耐震化工事

管渠老朽化対策



管渠更生工事

その他プレキャスト製品

道路更新



壁高欄

1. 会社概要・事業内容
- 2. 2020年3月期第2四半期業績説明**
3. 2020年3月期業績予想
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

連結業績ハイライト

- 営業利益・経常利益・四半期純利益(※)の増加
- 下水道関連事業では、防災関連の需要拡大に伴う、ヒューム管関連の高付加価値製品が堅調に推移
基礎事業では、選別受注による利益率の確保

(単位：百万円)

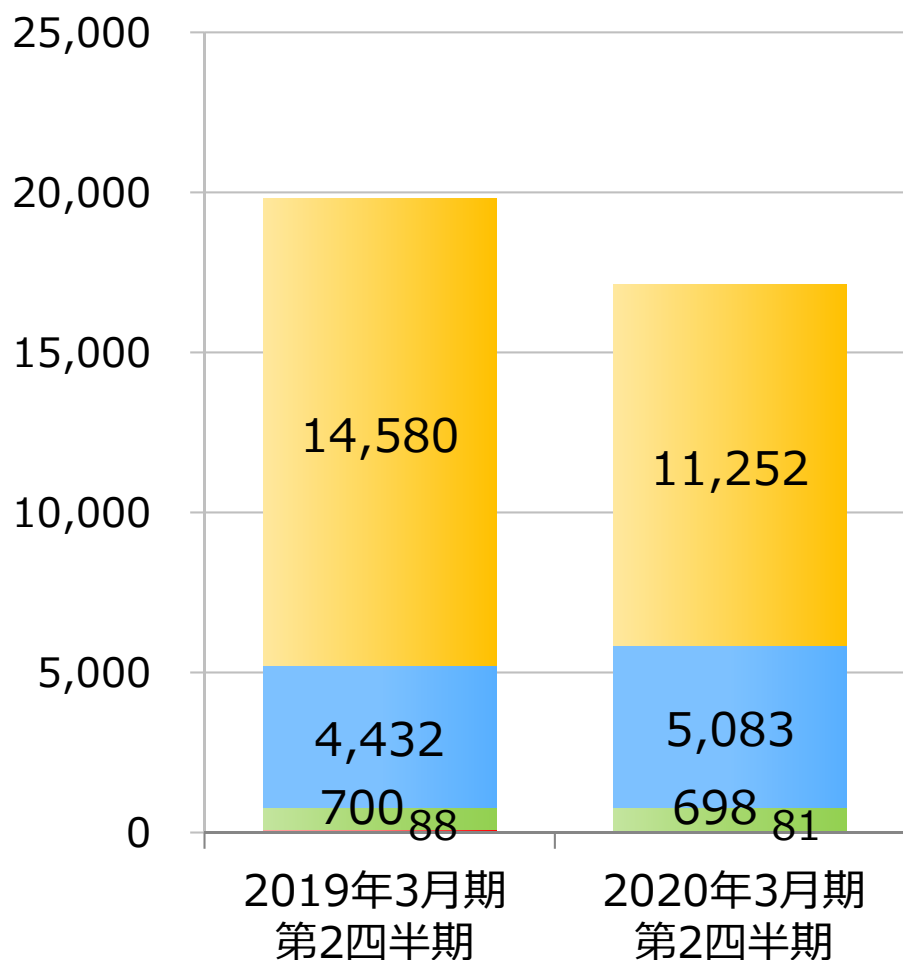
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率	期初予想
売上高	19,802	17,115	▲2,686	▲13.6%	15,500
営業利益	701	930	228	32.6%	600
経常利益	1,441	1,658	216	15.0%	1,050
四半期純利益(※)	1,269	1,293	23	1.9%	800

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

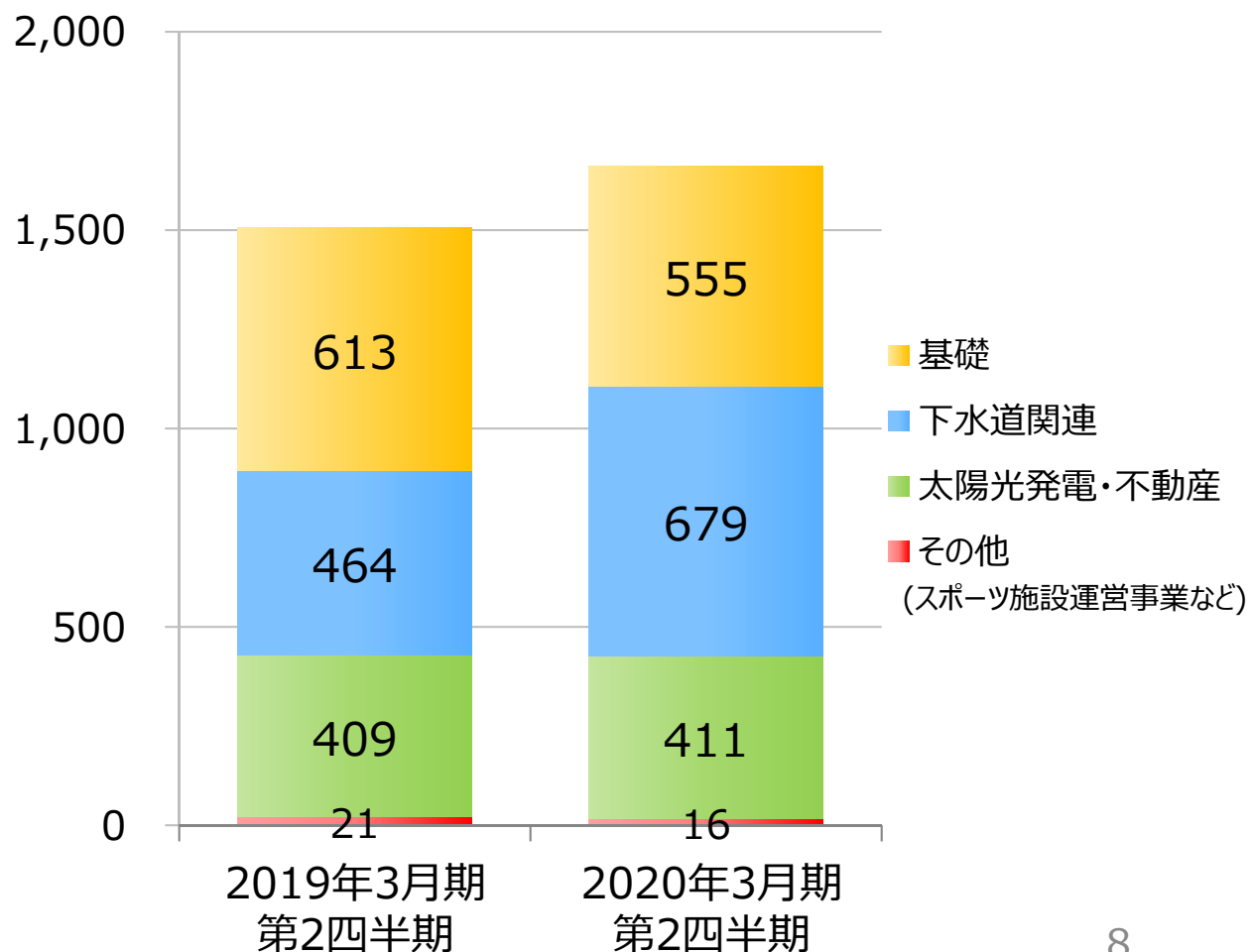
セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

売上高

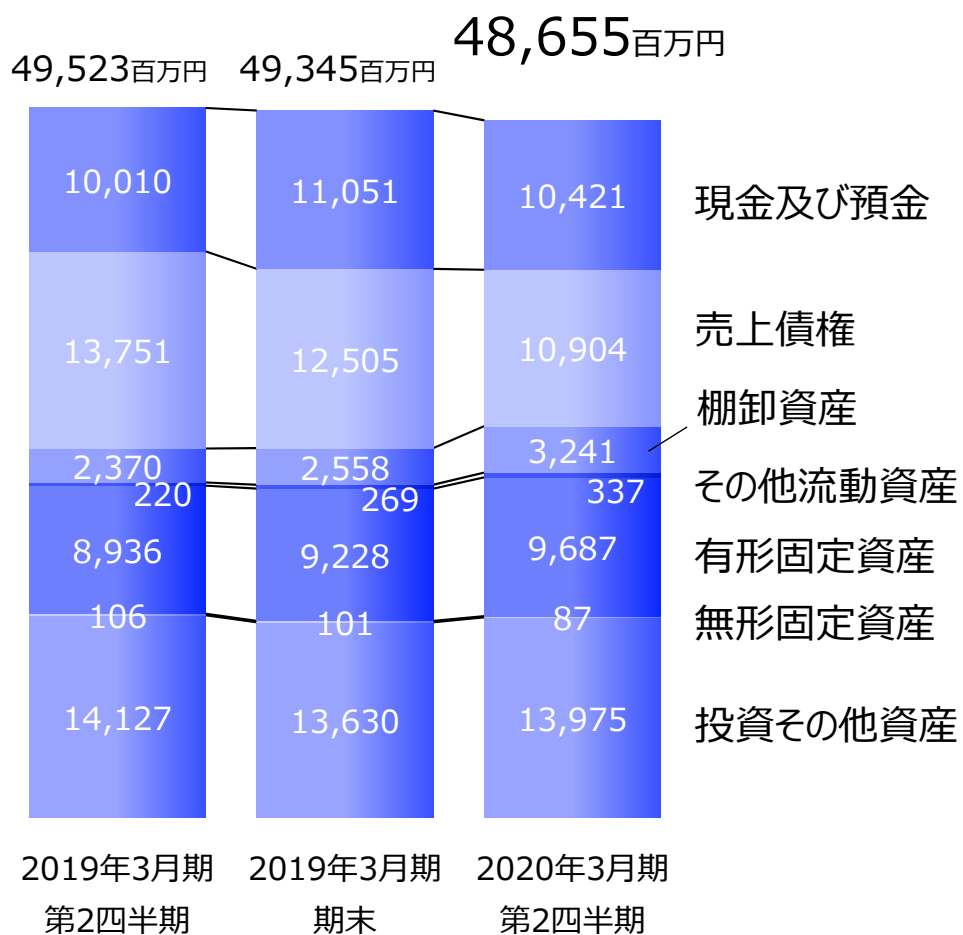


営業利益

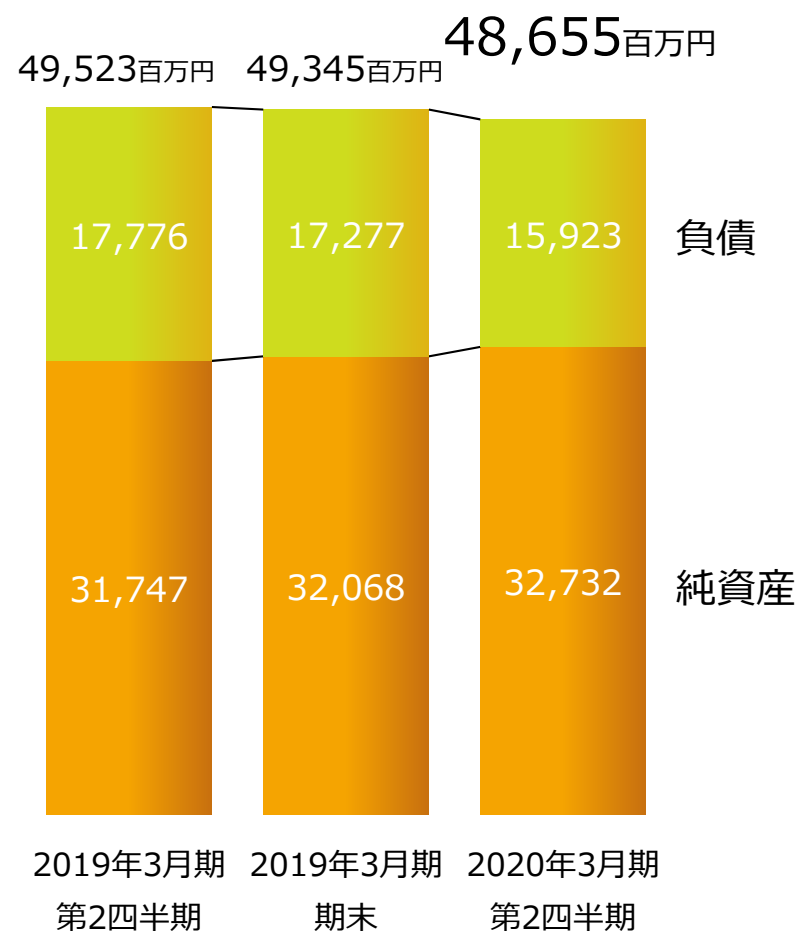


連結貸借対照表

資産



負債・純資産



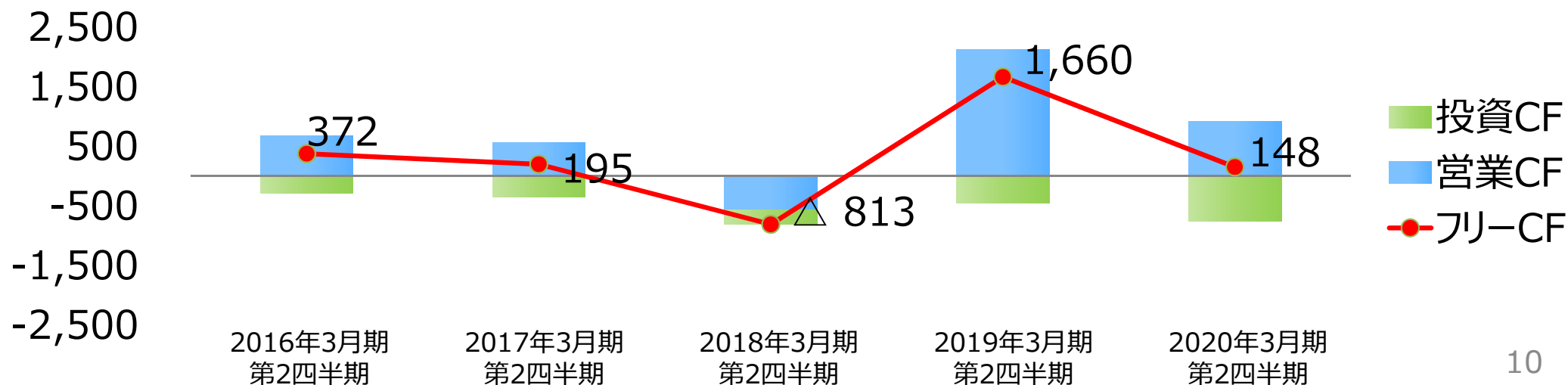
2020年3月期第2四半期業績説明



キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,116	913	▲1,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲456	▲764	▲308
フリーキャッシュ・フロー	1,660	148	▲1,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲454	▲783	▲328
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,969	10,379	409



1. 会社概要・事業内容
2. 2020年3月期第2四半期業績説明
- 3. 2020年3月期業績予想**
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

2020年3月期業績予想

業績見通し

- 防災需要によるヒューム管関連製品やセグメント製品の堅調な推移
- 基礎事業は後半期も厳しい市場環境下で、引き続き受注競争激化が予想される

(単位：百万円)

	2019年3月期 (A)	2020年3月期 (期初予想)	2020年3月期 (業績予想修正後:B)	増減額(B-A)	増減率(B/A)
売上高	38,015	39,000	39,000	984	2.6%
営業利益	1,670	1,700	1,700	29	1.8%
経常利益	2,579	2,400	2,500	▲79	▲3.1%
当期純利益 ^(※)	2,053	1,800	1,900	▲153	▲7.5%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1. 会社概要・事業内容
2. 2020年3月期第2四半期業績説明
3. 2020年3月期業績予想
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

経営基盤強化戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 目標管理機能の強化					
事業部門と経営の連携強化				●	モニタリング機能強化
② リスク管理体制の強化					
リスクマネジメント委員会の設置、ガバナンス強化				●	リスク管理強化
③ 現場力の強化					
OJTの実施、働き方改革の推進			●		外部コンサルタントによる改善活動導入
④ 「見える化」による経営管理基盤の強化					
管理会計の強化				●	モニタリング機能強化
⑤ 計画的な人材育成、教育の強化					
系統的な教育の実施、メンター制度の導入			●		階層別人材教育の強化

競争力向上戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 生産設備の戦略的な改善					
生産・施工現場における安全性の向上			●		積荷検査のシステム化による効率化
② 調達、工事体制の戦略的な整備					
建設キャリアアップシステムの活用			●		労働環境の整備
③ 次世代生産管理設備、工事管理設備の戦略的な取組み					
生産・施工現場におけるICT・IoTの導入			●		ICTによる製造管理の効率化

グループ成長戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 事業領域拡大への戦略的な取組み					
老朽化が進行する上下水道の整備・更新			●		下水道管・マンホールの更新拡大
再生利用可能エネルギー事業関連製品の提供		●			環境負荷軽減 ⇒風カタワのコンクリート建造部門営業強化
② 注力事業への戦略的な取組み					
浸水対策・耐震・基礎事業の営業強化		●			大規模災害対策事業の強化 ⇒多様な製品展開での雨水・貯留管拡販
道路・橋梁・鉄道事業でのソリューション提供			●		新型壁高欄の開発
建設現場生産性の向上に向けたプレキャスト製品の提供			●		プレキャスト化提案部署の強化
③ 次世代製品、工法開発の戦略的な取組み					
環境に配慮したコンクリート製品の開発・製造		●			CO ₂ を低減した下水道用管材の開発
環境に配慮した施工法の開発		●			環境負荷軽減

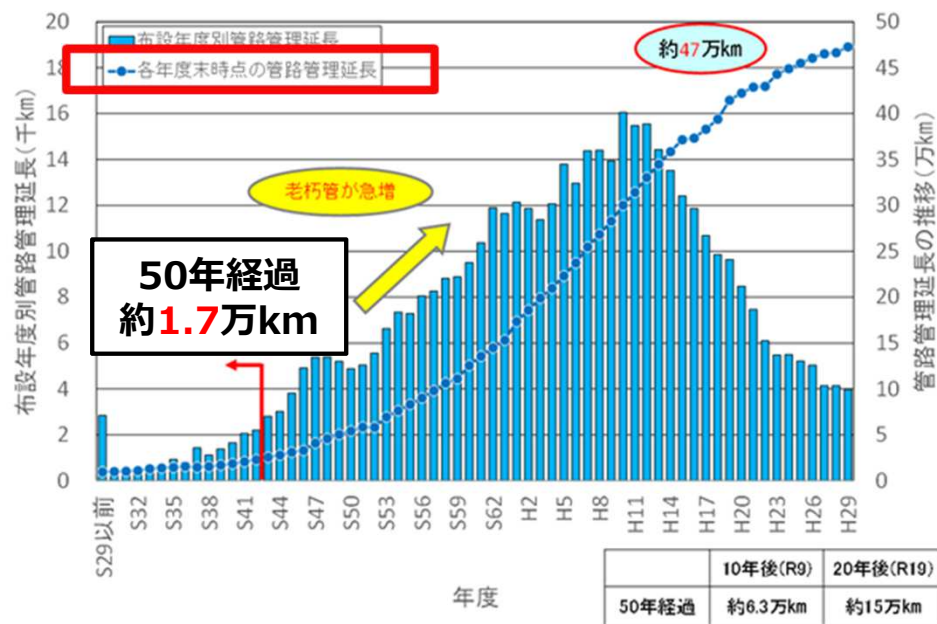
グループ成長戦略

中期経営計画		ESG経営		
基本戦略		E	S	対処すべき課題と取組み
① 事業領域拡大への戦略的な取組み		G		
老朽化が進行する上下水道の整備・更新			●	下水道管・マンホールの更新拡大



下水道管の更生工事

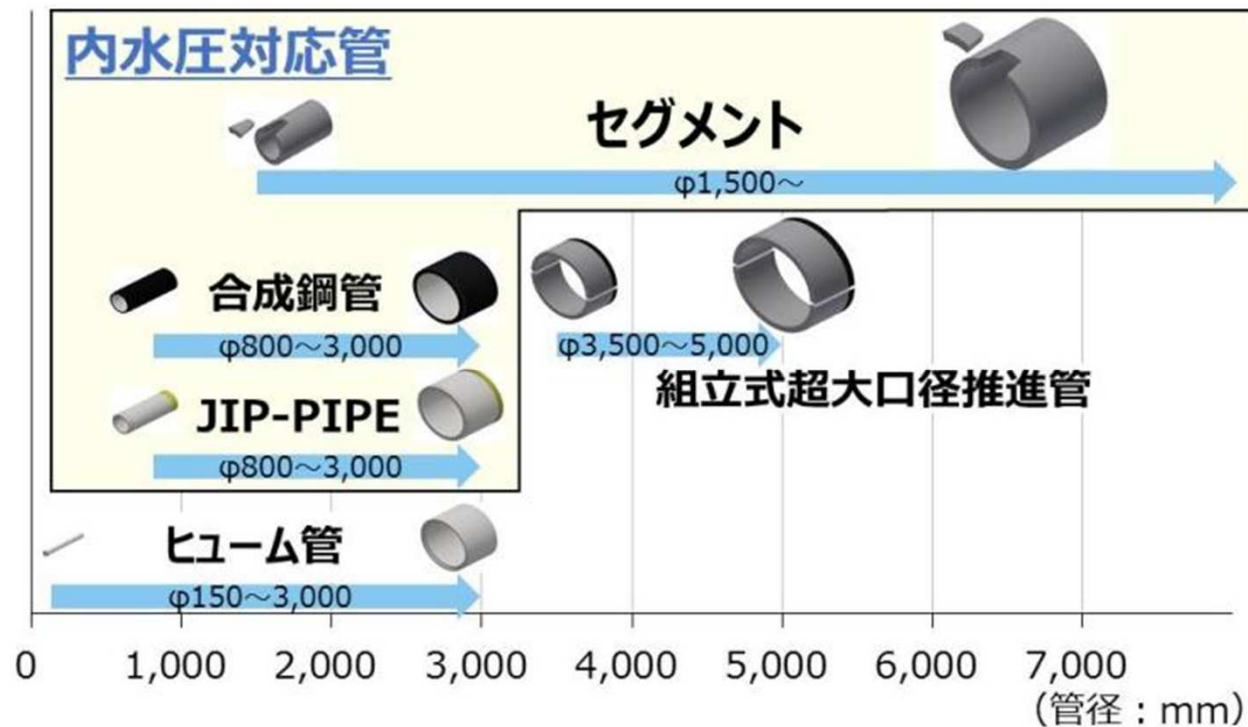
■ 管路施設の年度別管理延長 (H29末現在)



(出典：国土交通省HP)

グループ成長戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
② 注力事業への戦略的な取組み					
浸水対策・耐震・基礎事業の営業強化		●			大規模災害対策事業の強化 ⇒多様な製品展開での雨水・貯留管拡販



浸水対策事業で使用される当社製品群

グループ成長戦略

中期経営計画	ESG経営			
基本戦略	E	S	G	対処すべき課題と取組み
② 注力事業への戦略的な取組み				
道路・橋梁・鉄道事業でのソリューション提供		●		新型壁高欄の開発



壁高欄 実車衝突試験の様子



クイック壁高欄 衝突試験



NIPPON HUME
Group

【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

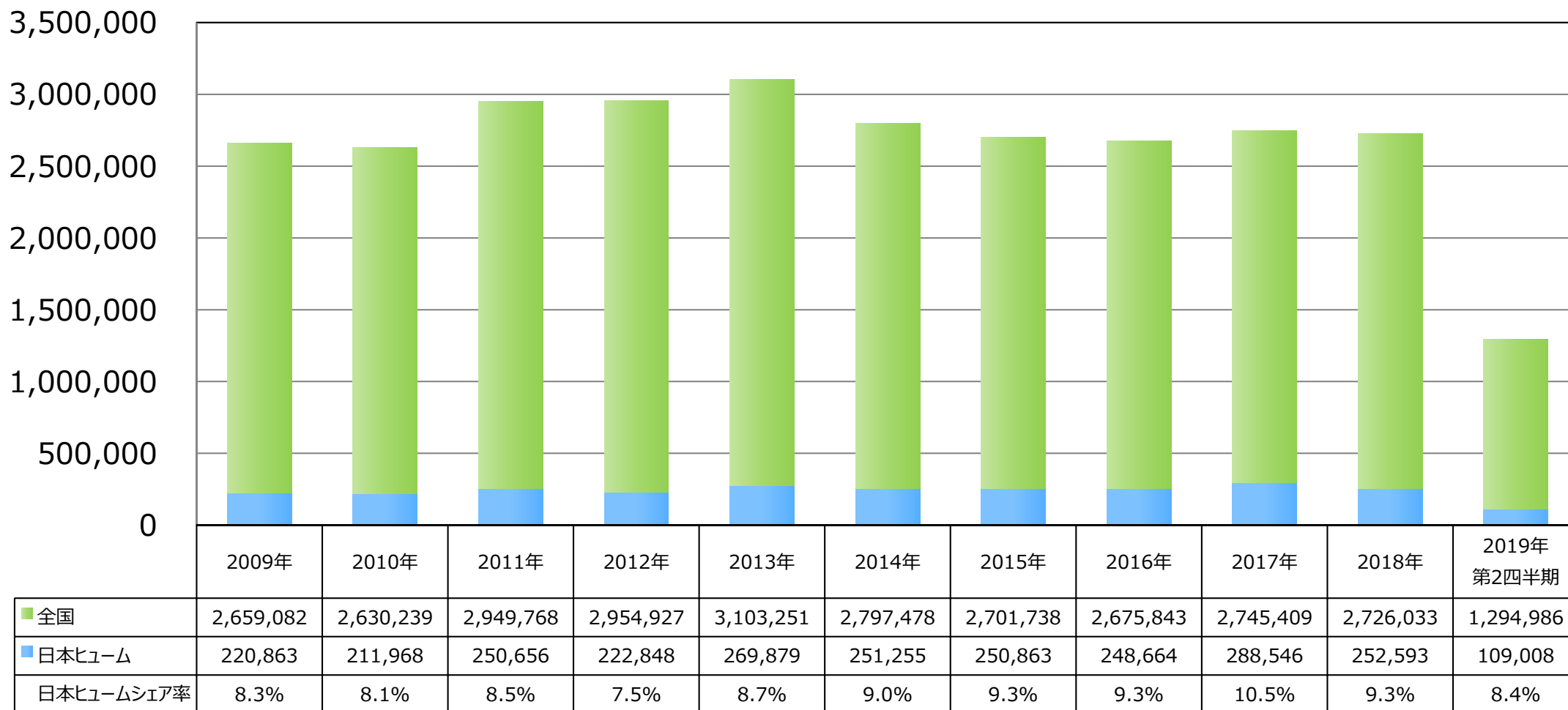
【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。

参考資料

パイル需要推移

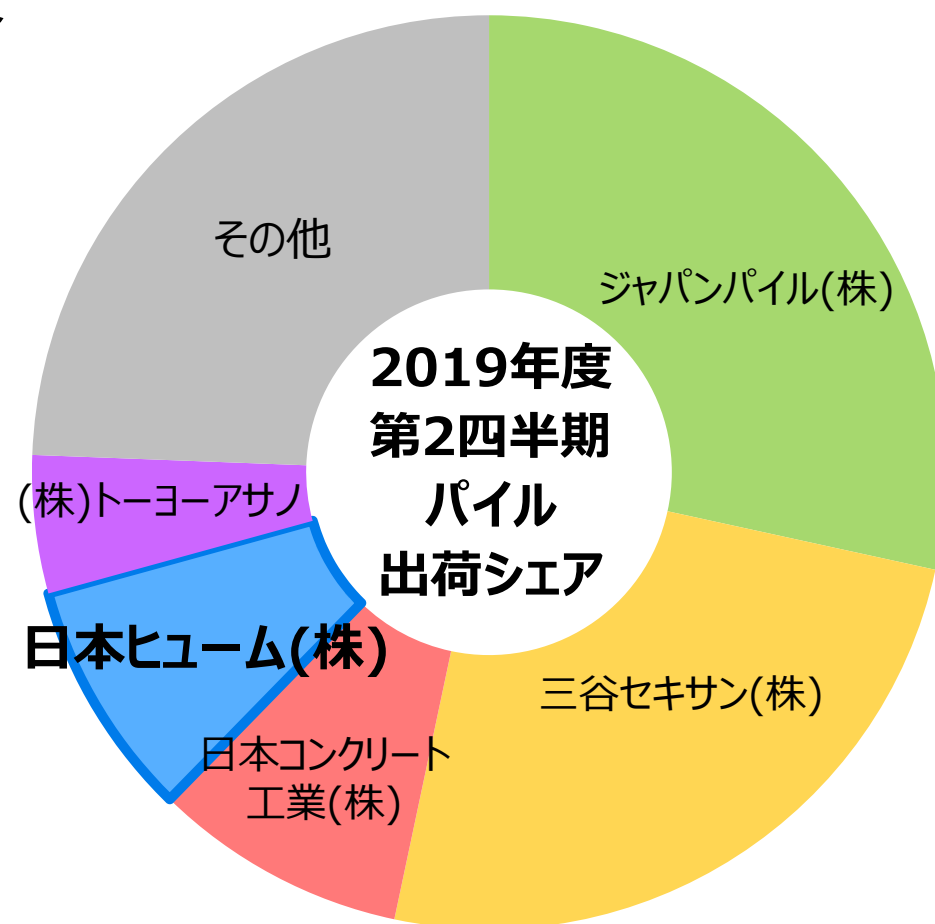
（単位：ton）



（出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出）

2019年度上半期パイル出荷実績

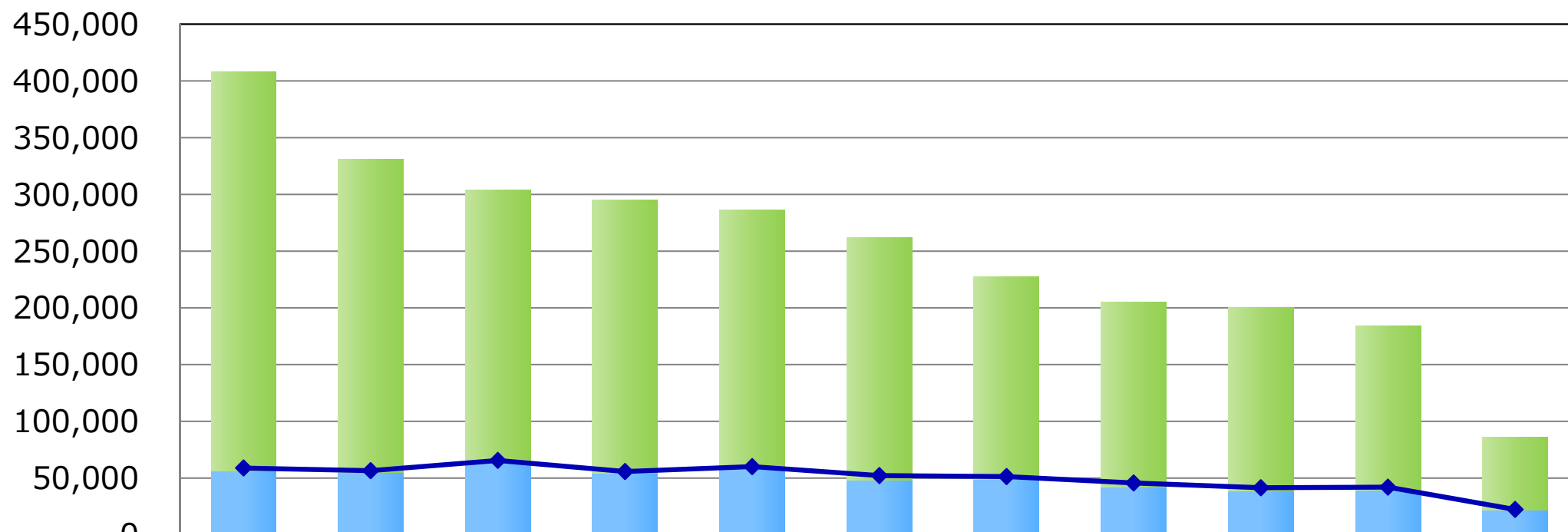
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	ジャパンパイル(株)	368,120	28.4%	+6.2%
2	三谷セキサン(株)	322,379	24.9%	+2.1%
3	日本コンクリート工業(株)	116,348	9.0%	-3.7%
4	日本ヒューム(株)	109,008	8.4%	-1.6%
5	(株)トーヨーアサノ	63,218	4.9%	-1.6%
6	前田製管(株)	53,317	4.1%	+0.2%
7	マナック(株)	38,388	3.0%	-1.0%
8	日本高圧コンクリート(株)	35,956	2.8%	-0.1%
	その他	188,252	14.5%	-0.7%
	合計	1,294,986	-	-



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

ヒューム管需要推移

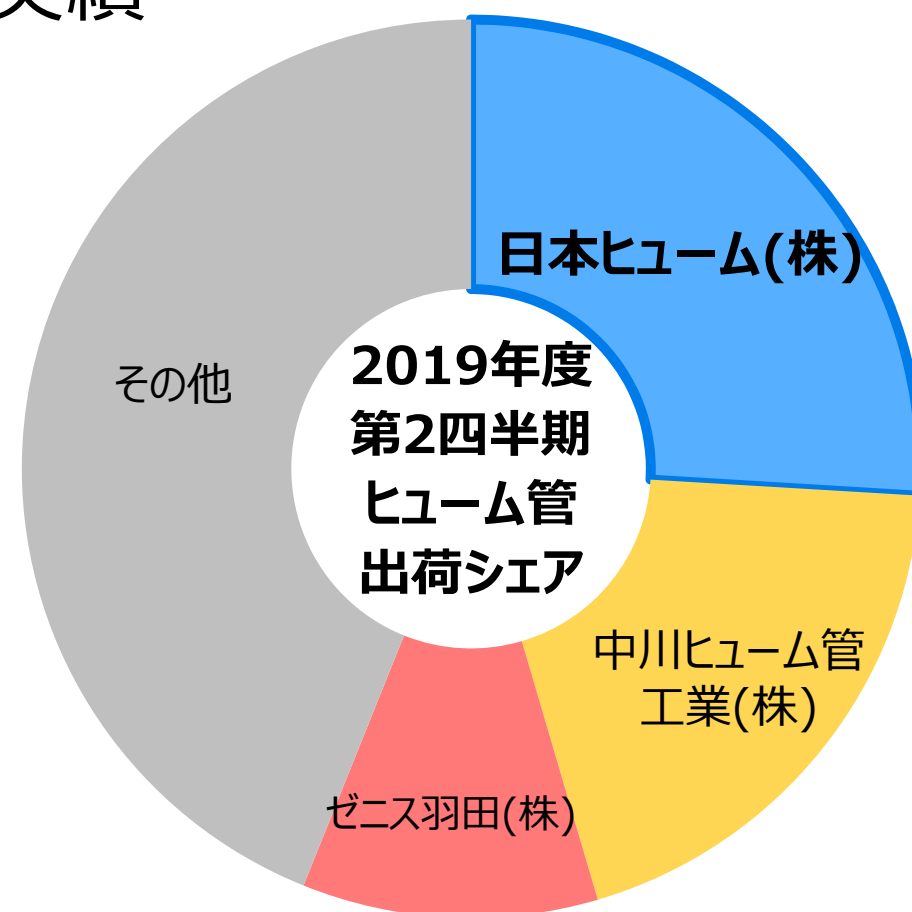
（単位：ton）



	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 第2四半期
■ 全国	408,163	330,705	303,686	295,288	286,538	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	86,289
■ 日本ヒューム	55,713	54,053	62,747	53,571	57,073	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	20,819
◆ 日本ヒュームGr	58,888	56,513	65,560	55,802	60,135	52,219	51,315	45,747	41,480	42,023	22,396
日本ヒュームGrシェア率	14.4%	17.1%	21.6%	18.9%	21.0%	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	26.0%

2019年度上半期ヒューム管出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	日本ヒューム(株)	22,396	26.0%	+4.6%
2	中川ヒューム管工業(株)	16,821	19.5%	+1.8%
3	ゼニス羽田(株)	9,179	10.6%	+0.0%
	その他	37,893	43.9%	-6.4%
	合計	86,289	-	-



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）